

今治市都市計画審議会議事録  
(書面開催)

都市建設部都市政策課

- 議案：議案第1号「今治広域都市計画道路の変更について」  
○報告：報告第1号 都市計画法に規定する開発行為等の許可の基準  
          に関する条例の一部改正について  
          報告第2号 今治市市街化調整区域の地区計画の運用方針の  
          見直し（案）について

(審議会委員) (名簿順)

松村 暢彦	眞鍋 次男	黒川 俊継
近藤 貞明	叶 貴美	木村 文広
谷口 芳史	平田 秀夫	松田 敏彦
中屋 正浩	岡田 博文	高橋 良作
田中 弘	栗津 小幸	白石 直人

以上 15 名

○審議事項

議案第1号「今治広域都市計画道路の変更について」

- 承認する (14票) ※会長を除く全委員  
 承認しない

(委員意見)

なし

○審議結果

(松村会長)

議案第1号について、異議なしと認め、原案のとおり答申する。

○報告事項

- 報告第1号 都市計画法に規定する開発行為等の許可の基準に関する条例  
          の一部改正について  
報告第2号 今治市市街化調整区域の地区計画の運用方針の見直し（案）  
          について

(委員意見)

今治市の都市計画について思うこと

今回、今治市が宝島社「住みたい田舎」ベストランキングで、「子育て世代が移住したい町」1位・「シニア世代が移住したい町」1位を獲得したことは誠に喜ばしい話題であります。

新型コロナ禍の中で、東京一極集中に一定の歯止めがかかり、リモートワーク等で地方に関心が向いている今こそ、より魅力ある街づくりが必要になってきています。

そんな中、市街化調整区域の地区計画の運用の見直し(案)は一定の評価はできますが、私が不動産業に足掛け20年余り関わった中の経験では、まだまだ中途半端感は否めません。

今治市へ出店したいと他の地域の不動産業者からの問い合わせで一番多いのは国道196号線バイパス沿いへの出店希望です。

しかし、バイパス沿いはほとんどが市街化調整区域で、地区計画の見直しで計画しても、様々なハードルがあまりにも高く断念するケースがほとんどです。

今回の地区計画の運用の見直し(案)では、今までよりは少しはハードルが下がるようですが、実務で運用する場合には、もっとメリハリのついた見直しが出来ないのでしょうか。

具体的には、バイパス沿い幅100mで準工業地域に用途地域変更するとか。

西条市・新居浜市の様に、市街化区域・市街化調整区域線引きの廃止まですることなく、商業施設等で活かせる土地、農地で残す土地、住居系地域で快適な街づくり等その土地に合った柔軟な都市計画が出来ないのでしょうか？

今回の見直し(案)では、特に今治小松自動車道の開通を見越した内容になっていますが、実際の運用面ではいまだ未確定な要素が多いと思われる。

又、他の地域から選ばれる今治市になる為には、魅力あるまちづくりを進めることはとても重要な鍵になります。

そのキーワードは「人に優しく・地球に優しいまちづくり」です。人が生活する上で、色々な障害等を無くした、便利なまちづくりが重要になります。

又、地球環境に配慮したまちづくりでないと、持続可能性は無くなります。

今の時代に合ったSDGsは必要不可欠な要素です。

それに加えて、学校教育（IT を活用した授業の構築や地域社会と連携した教育）・医療・雇用の創出等様々な施策を組み合わせ、魅力ある今治市に作り上げる必要があると思います。

これからも益々魅力ある今治市にするために微力ながらご協力出来たら幸いです。

※いただいたご意見等は、原文のまま記載しております。

（事務局回答）

・貴重なご意見を頂戴いたしましたので、今後の本市のまちづくりに活かしてまいります。